

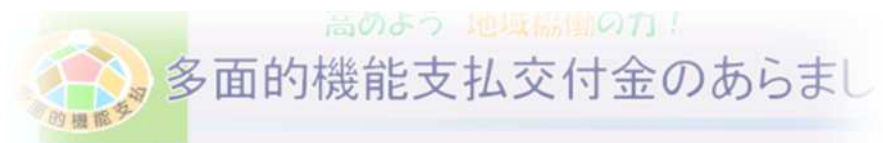
研修会趣旨説明



富山県農林水産部農村振興課

多面的機能支払交付金

- 平成26年度から、農業・農村の有する多面的機能の維持・発揮を図るための地域の共同活動に係る支援を行い、地域資源の適切な保全管理を推進するもの。
- また、これにより、農業・農村の有する多面的機能が今後とも適切に維持・発揮されるとともに、担い手農家への農地集積という構造改革を後押しする。
- 来年度（令和7年度）から、第3期対策が始まる。



いま、「地域」は？



- ◆人口が減少し、後継者が不足
- ◆住民同士のコミュニケーションが薄れている
- ◆地域の集落機能が崩壊寸前
- ◆土地や建物の管理もままならない

過去50年の間に地域では・・・

真の課題は、

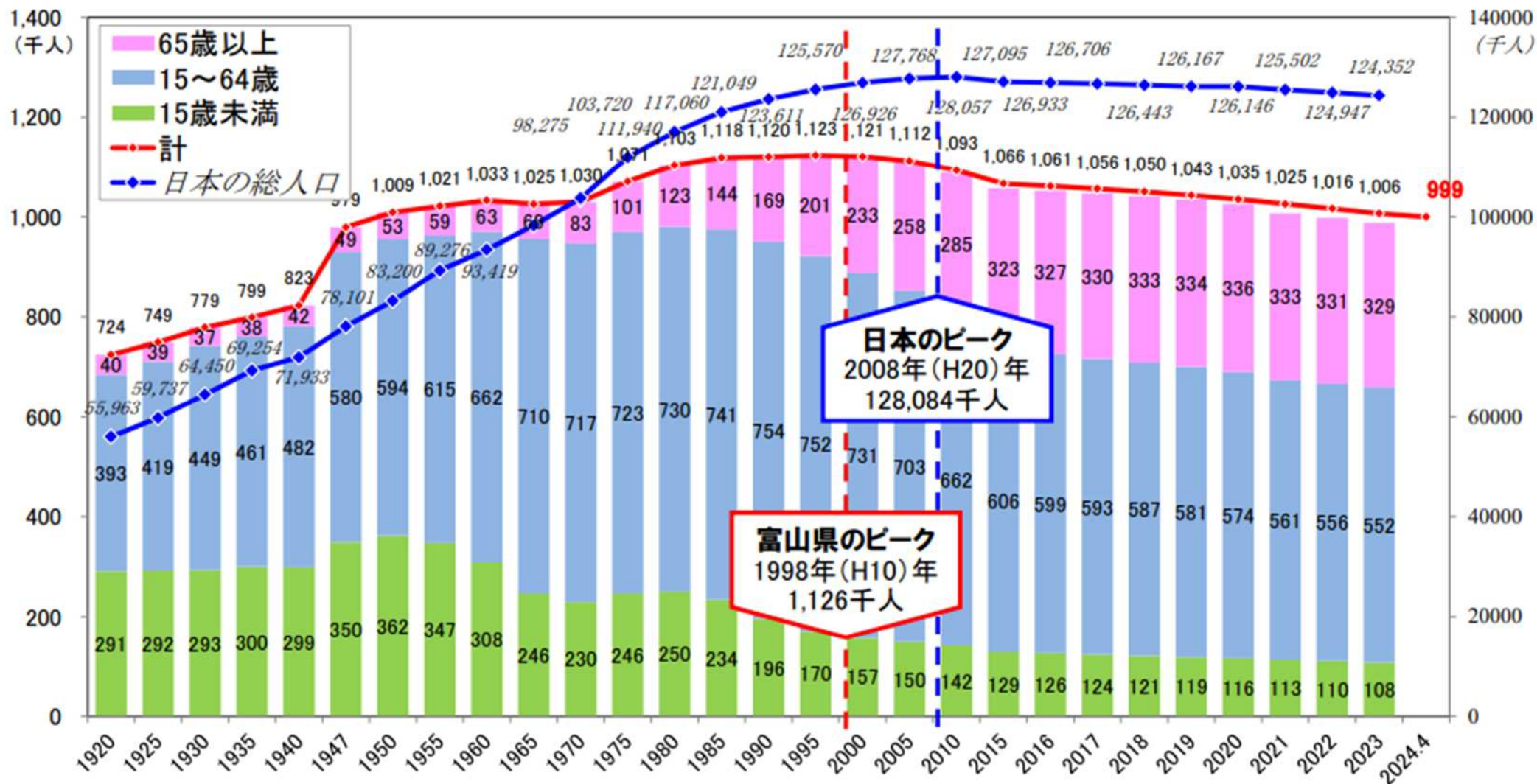
①少子高齢化による過疎化

②集落機能の低下

我が国と富山県のこれまでの人口推移

資料1

- 富山県の人口は、全国より 10年早い 1998 (H10) 年をピークに減少に転じる
- 年齢3区分別の人口構成をみると、65歳以上が拡大する一方、15歳未満は減少が続いており、人口構成が変化



(出典) 総務省統計局「人口推計」、富山県「人口移動調査」(いずれも各年10月1日現在) ※2024.4は4.1現在

人口100万人割れ

将来推計によれば、出生率が改善せず、人口の転出超過が現状のように続けば、**2040年（あと15年あまり）**で**80万人近く**まで、人口が減少。

YAHOO! ニュース IDでもっと便利に新規取得
JAPAN ログイン LINEとつながり毎日5% ※上限あり

キーワードを入力

トップ 速報 ライブ エキスパート オリジナル みんなの意見 ランキング

主要 国内 国際 経済 エンタメ スポーツ IT 科学 ライフ 地域

富山県の人口100万人割れ 76年ぶり、少子化や流出要因

5/1(水) 17:11 配信 28



富山県は1日、4月1日時点の推計人口が99万9476人で、1948年以来76年ぶりに100万人を割り込んだと明らかにした。少子化や若い女性の県外流出が要因で、近年は毎年約1万人のペースで減少していた。県は若年層向けの雇用創出や関係人口の増加に力を入れる考えだ。

新田八朗知事は県庁で記者団に「減少を抑制する取り組みとともに、人口が減っても社会機能が維持できるように対策を考えていく」と述べた。

富山県の人口は、1998年の約113万人をピークに減少が続いていた。国立社会保障・人口問題研究所が、20年国勢調査の結果を基に算出した推計では、2050年には約76万人にまで減るとしていた。

この記事はいかがでしたか？
リアクションで支援しよう

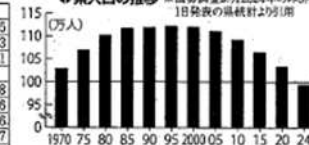
学びがある わかりやすい 新しい視点

県人口 100万人割れ

都道府県別の人口ランキング

順位	都道府県	人口
1	東京都	13,841,065
2	神奈川県	9,212,003
3	大阪府	8,784,421
35	富山県	1,009,638
36	山形県	1,042,396
37	福井県	999,476
38	香川県	956,787
39	秋田県	941,021
40	和歌山県	924,499
41	山梨県	812,815
42	佐賀県	806,877
43	福井県	759,777
44	徳島県	718,879
45	高知県	684,964
46	鳥取県	658,809
47	鳥取県	546,558

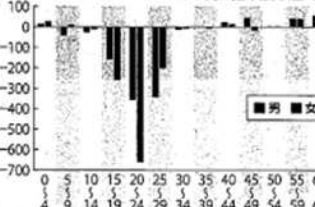
県人口の推移 国勢調査より、2024年の4月5月1日発表の推計より引用



ペース加速年1万人減
県は1日、県人口（4月1日時点）が99万9476人（前年比2.0%減）となり、1948年の統計開始以来、初めて100万人を割ったと発表した。県人口は98年の112万6000人をピークに減少が続いており、そのペースは年1万人ペースに加速しており、人口減少は持続した状態だ。（山形県民生活）

若年層 未婚化深刻

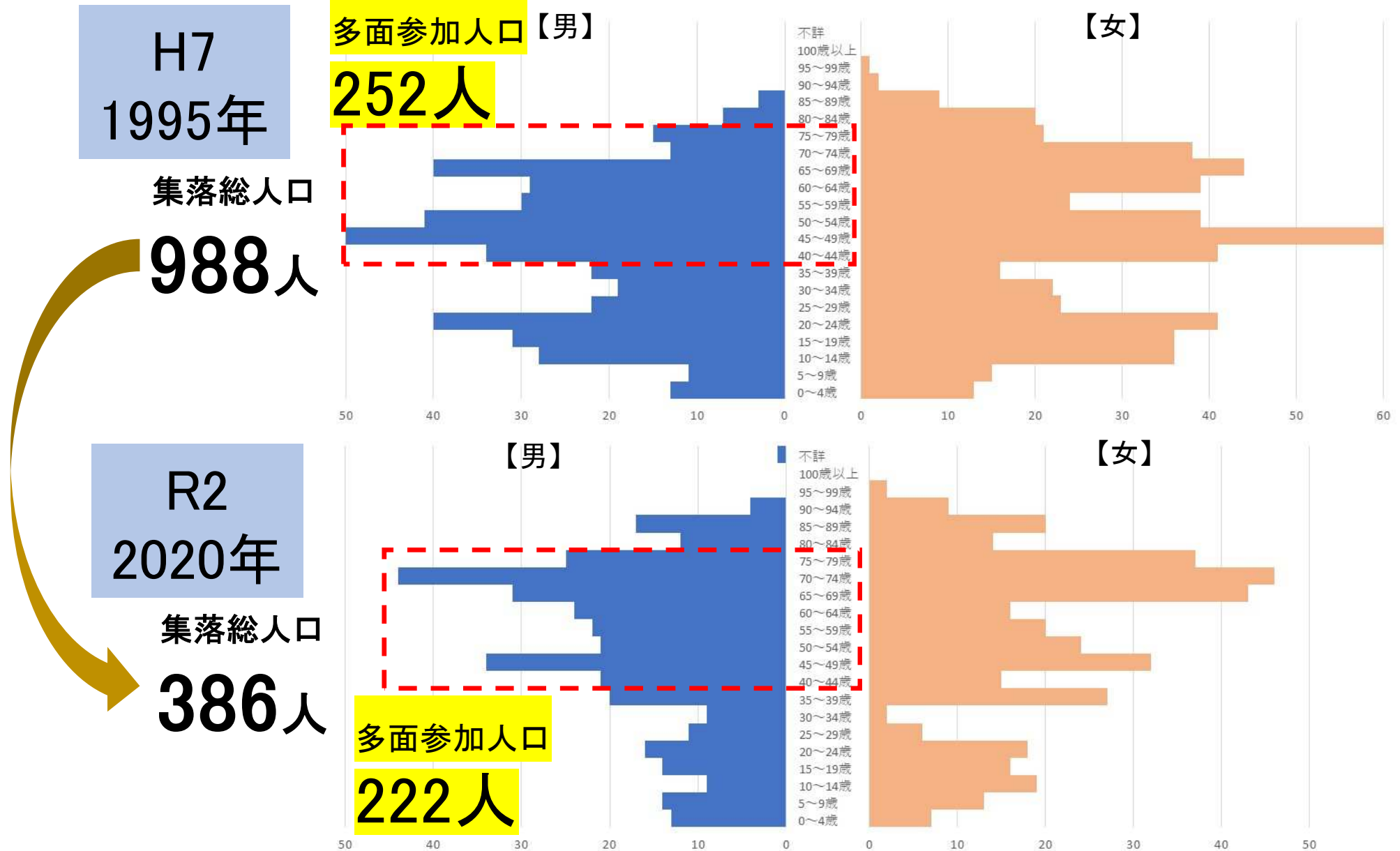
男女別・年齢別の転入超過数（2023年）



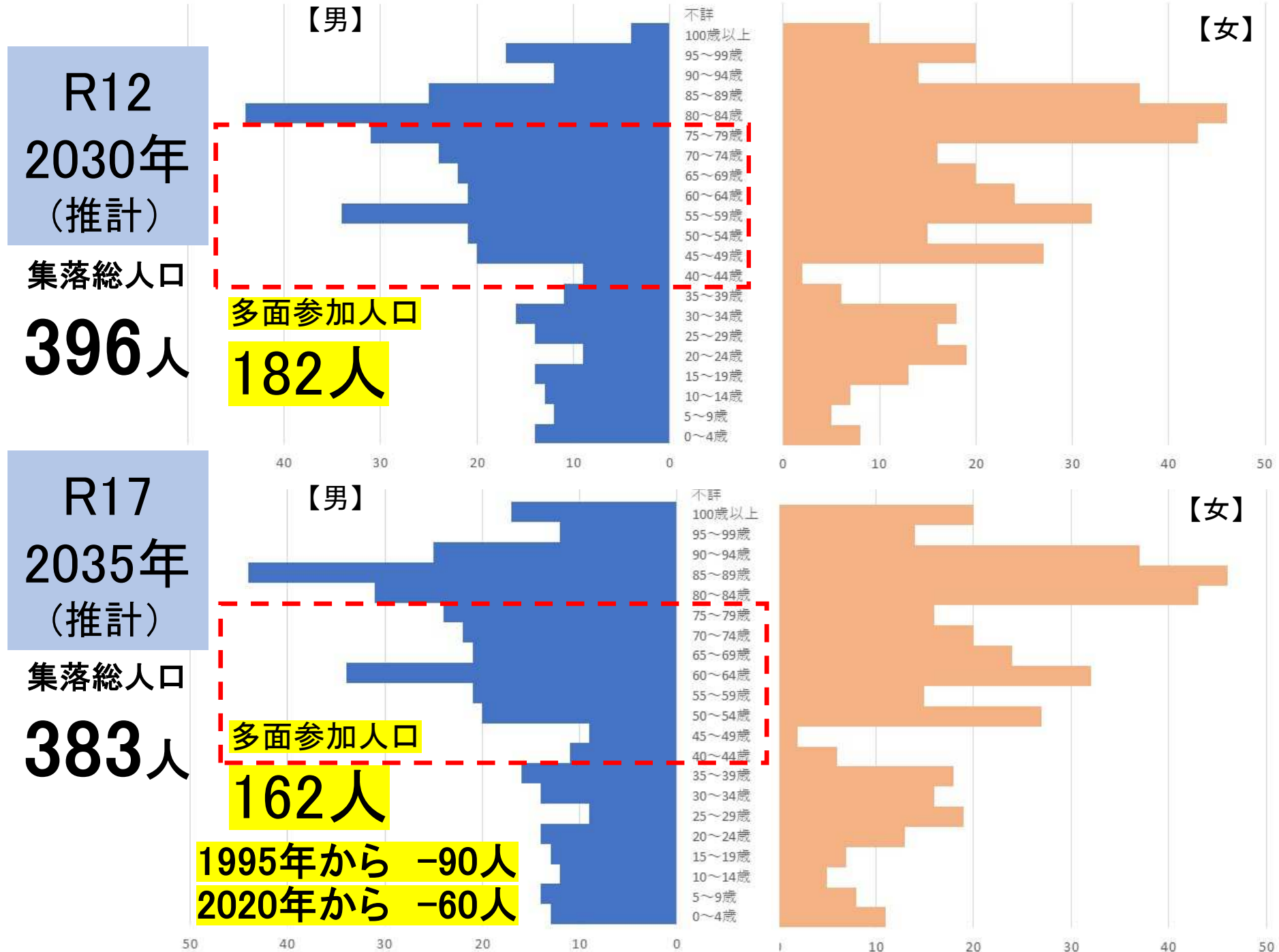
若年層の未婚化は、転入超過数の減少に大きく影響している。若年層の未婚化が進むと、転入超過数は減少し、人口は減少する。若年層の未婚化は、転入超過数の減少に大きく影響している。若年層の未婚化が進むと、転入超過数は減少し、人口は減少する。

県内多面活動組織の集落Aの人口動態

- ・平成7年(1995年)から令和2年(2020年)の25年間で集落総人口は半分以下に。(国勢調査結果より作成)
- ・多面活動参加者の主な年齢層は、40歳～79歳※男性 = 多面参加人口

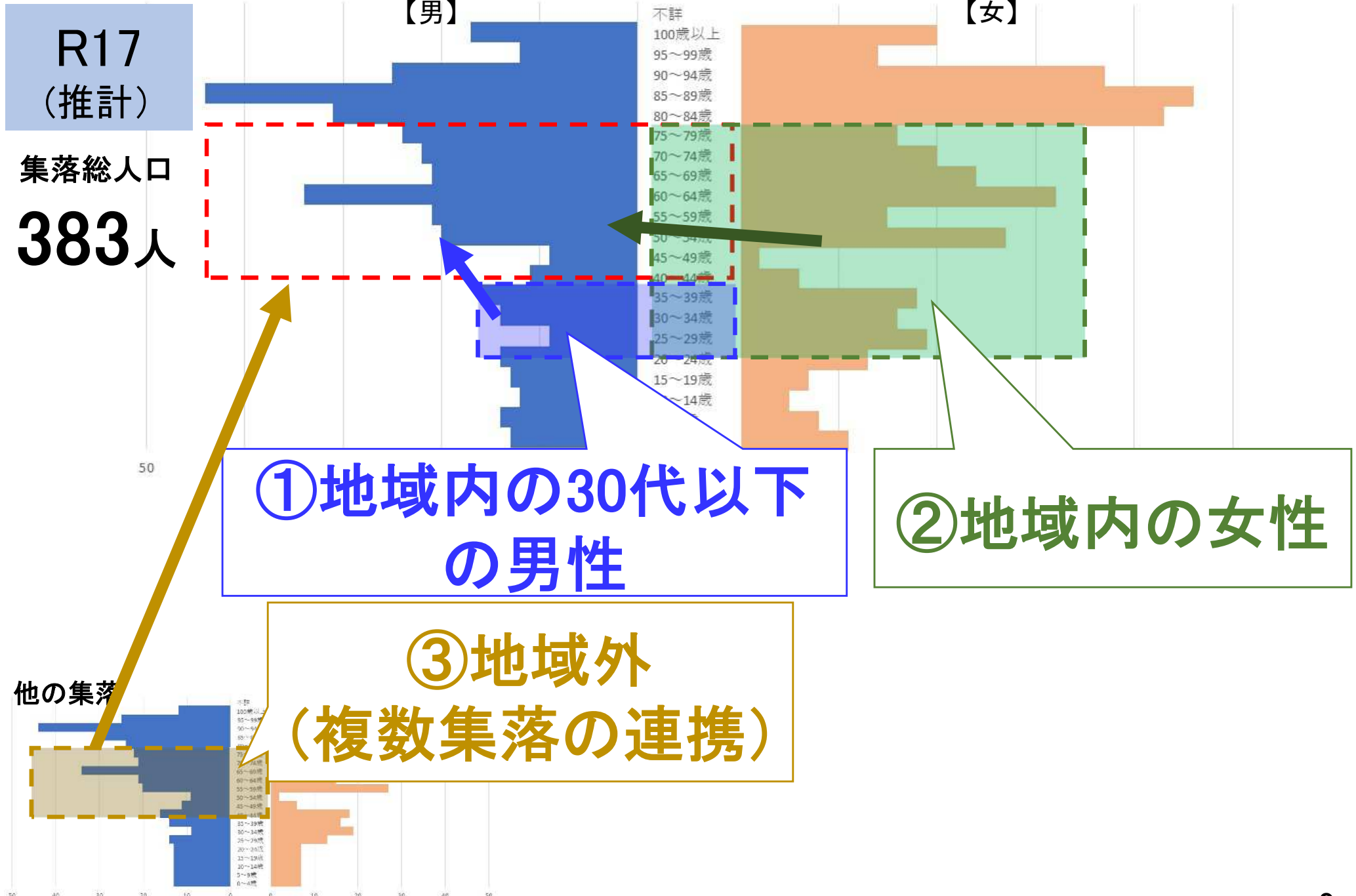


県内多面活動組織の集落Aの人口推計



※単純な推計: 転入転出、死亡等を考慮しない。出生率は、25歳～39歳の人口に係数を乗じて算定している。

県内多面活動組織の集落Aの人口推計



※単純な推計：転入転出、死亡等を考慮しない。出生率は、25歳～39歳の人口に係数を乗じて算定している。

地域の共同活動による保全管理は、ゆでガエル状態



【ゆでガエル現象】人や組織は、ゆるやかな環境変化には気づきにくく、対応が遅れるという現象



図：読売新聞より

気が付いたころにはゆで上がってしまう。
危機的状況をいち早く察知し、行動しましょう！

人手不足解決に向けて

キーワードは、

「地域の若年層・非農家の参画促進」

「複数集落による緩やかな連携」

- 本研修では、このテーマで、県内外の事例を紹介。
- 事例から感じたことを活動組織に持ち帰り、取り組みの継続に向けて話し合うきっかけに。

